

平成28年度 事業報告書

1. 事業成績関係

社会福祉法人 報恩積善会

(1) 入退所状況

(平成29年3月31日現在)

区分	男性	女性	計	備考
前年度繰員	23	47	70	
28年度入所	1	2		
計	24	49	73	本年度取扱人員
28年度退所	1	0	0	
28年度死亡	3	3		
計	4	3		本年度取扱減人員
28年度末現在	20	46	66	次年度繰人員
平成28年度入所取扱人員		73名		
平成28年度入所延人員		23, 547名		

(2) 創立以来の入退所状況

区分	入所人員	退所人員	死亡人員	現在人員
男性	581	241	321	20
女性	677	231	400	46
計	1,258	472	721	66
創立以来入所実人員		1, 258名		
創立以来入所延人員		1, 802, 543名		

(3) 実施機関調べ

委託機関	男性	女性	計
岡山市	12	35	47
総社市	1	2	3
倉敷市	2	2	4
瀬戸内市	0	2	2
新見市	0	2	2
真庭市	0	1	1
備前市	0	1	1
津山市	2	0	2
和気町	1	1	2
美咲町	2	0	2
計	20	46	66

(4) 利用者の前住所状況

前住所区分	男性	女性	計	割合
居宅から入所	7	19	26	39.4%
病院から入所	10	19	29	43.9%
他施設から入所	3	8	11	16.7%
その他	0	0	0	
計	20	46	66	100%

(5) 年齢構成

	64才 以下	65才 ~69才	70才 ~74才	75才 ~79才	80才 ~84才	85才 ~89才	90才 ~94才	95才 ~99才	100才 以上	計
男	0	3	6	4	5	2	0	0	0	20
女	0	1	7	6	14	13	3	1	1	46
計	0	4	13	10	19	15	3	1	1	66
最高年齢	男性 88才 女性 104才									
平均年齢	男性 76.4才 女性 82.3才 男女平均 80.5才									

(6) 年金受給状況

	国民 年金	厚生 年金	老齢福 祉年金	遺族 年金	障害者 年金	恩給	共済	労災	厚生年 金基金	無	計
男	1	11			11		1		1	0	25
女	12	25		3	9				7	5	61
計	13	36		3	20		1		8	5	86

(7) 死亡原因

	癌	老衰	急性心 筋梗塞	肺炎	慢性 腎不全	心筋 梗塞	その他	計
男	0	0	0	1	0	2	0	3
女	0	2	0	1	0	0	0	3
計	0	2	0	2	0	2	0	6

(2) ショートステイ利用状況

年 月	利用者数	延日数
28年4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0

年 月	利用者数	延日数
11月	0	0
12月	0	0
29年1月	1	9
2月	1	28
3月	1	6
計	0	43

(3) 配食・会食サービス実施状況

種類	実施形態	利用者数
配食サービス	毎週月・水・金曜日の昼食	7名
会食サービス	毎日・毎食可	8名

(4) 施設の貸与

元気の出る会、愛育委員会、笹が瀬町内二十日会

3. 処遇関係

(1) 主な年間行事実施状況

28年4月	ひな祭り お花見
5月	健診、蓮見学
6月	大掃除、地域交流会
7月	夏祭り
8月	七夕祭り 盂蘭盆 納涼の夕べ
9月	敬老の日 創立記念日
10月	運動会 検診 ほうせき祭り
11月	積善会まつり
12月	クリスマス会 忘年会 餅つき、すす払い
29年1月	新年会
2月	節分会
3月	彼岸会 健康診断

施設主催、地域主催の各行事での交流を深めることができた。

(2) 月間行事実施状況

誕生会 売店 喫茶 文化活動 移動図書館 避難訓練 給食会議 町別会議 常会等については計画どおり実施できた。

(3) クラブ活動実施状況

種別	参加者数	回数
リハビリ体操	全員参加	週1
生け花クラブ	12名	週1
俳句クラブ	1名	月1
大正琴クラブ	4名	月1
ダンスクラブ	20名	月1
茶道クラブ	3名	月1

種別	参加者数	回数
カラオケクラブ	15名	月2
詩吟クラブ	4名	月2
手芸クラブ	6名	月2
習字クラブ	9名	月2
押し花クラブ	10名	月1

俳句クラブ、カラオケクラブ、詩吟クラブ、生け花クラブについては地域住民も参加。
全てのクラブ活動において、参加者が少なくなっている。

施設外活動実施状況

初詣、春・秋の墓参り、桜見物、紫陽花見物、ハス見物、紅葉狩り、イルミネーション見学等は、ドライブを兼ねて、複数回に分けて実施し好評であった。

(4) 入所者の健康管理

秋の第1回定期検診、11月のインフルエンザ予防注射、3月胸部レントゲン及び血液検査。

4. 実習受け入れ状況

- ①介護等体験 24名 明誠学院高等学校 17名
- ②玉野総合医療専門学校 19名
- ③中学校職場体験 京山中学 2名 香和中学 1名

5. 職員の処遇

(1) 施設外研修

月	出張先	参加者	出張内容
5月	岡山市	事務主任 支援員 施設長 事務主任 施設長 事務主任 "	市民のつどい 接遇リーダー研修会 社会経営協福祉法人経営者セミナー " 中小企業家同友会定時総会 " 能力開発啓発セミナー

6月	岡山市	施設長 施設長	養護老人ホーム部会施設長会 岡山県老人福祉施設協議会第1回総会
7月	岡山市	事務主任 〃	公正採用人権啓発研修会 雇用管理セミナー
8月	岡山市	栄養士 施設長 事務主任 主任生活相談員 介護職員（2名） 栄養士 看護師 施設長 事務主任 〃	特定給食施設関係者研修会 中国地区老人福祉施設研修大会 〃 〃 〃 〃 在宅・高齢者ケア施設等で働く看護職交流会 制度改革対応セミナー 〃 セキュリティ対策セミナー
9月	岡山市	事務主任 主任生活相談員 施設長 事務主任 調理員 事務主任 生活相談員 栄養士 生活相談員 主任生活相談員 事務主任 主任生活相談員 支援員 施設長	岡山市における介護予防・日常生活支援総合事業について 〃 社会福祉法改正に伴う施設を取り巻く動向と対策 〃 特定給食施設関係者研修会 キャリア段位制度アセッサー集合講習 〃 岡山市ブロック栄養士会 対人援助研修 リスクマネジメント研修 ボラマネカフェ 〃 岡山市ブロック介護部会全体会 岡山県老人福祉施設協議会理事会
10月	井原市 岡山市	施設長 事務主任 主任生活相談員 介護職員	養護老人ホーム施設長研修会 業務の電子化に関する研修会 養護老人ホーム部会認知症介護実践研修会 〃

10月	岡山市	計画作成担当者 事務主任 主任生活相談員 事務主任 主任生活相談員 生活相談員 支援員 施設長	養護老人ホーム認知症介護実践研修会 地域包括ケアわくわくフォーラム " 介護保険推進全国サミット in おかやま " " " 高齢者福祉施設を対象にした特殊詐欺被害 防止講習
	出雲市	"	第35回中国地区老人福祉施設長研修会
11月	岡山市	事務主任 施設長 事務主任 看護師 支援員	岡山西法人会セミナー 平成28年度経営協制度改革セミナー " 岡山市北区看護職員連絡会議 岡山市北区介護支援部会
12月	岡山市	看護師	感染症予防対策研修会
1月	神戸市 大阪市 岡山市	事務主任 " 支援員 計画作成担当者 支援員 施設長 事務主任 施設長 事務主任	改正社会福祉法対応セミナー 養護老人ホーム経営セミナー 高齢者虐待防止研修会 養護老人ホーム部会認知症介護実践研修 " 社会福祉法人改革対策セミナー " 中小企業家同友会新春経営講演会 "
2月	岡山市	事務主任 施設長 主任生活相談員 支援員 計画作成担当者 栄養士 事務主任	退職共済制度・育成制度事務説明会 福祉サービス苦情解決研修会 岡山県老人福祉施設職員研究発表会 " " " 社会福祉法人会計実務者決算講座
3月	岡山市	事務主任 主任生活相談員	ボランティア受入報告会 "

(2) 施設内研修

実施回数	研修名	対象者
毎日	朝礼と職種別ミーティング	出勤職員全員
毎月	職員会議	出勤職員全員
毎月1回	常会	職員と全老人
	町別会議	職員と各町の老人
	給食会議	調理職員と各町老人代表
	町別避難訓練	職員と各町の老人全員
毎月2回	ケアプラン会議	担当職員
年1回	事業計画会議	全職員
年1回	全体での避難訓練	職員と全老人
6月	嘔吐物の適切な処理方法	全職員
8月	精神疾患の方への対応について	全職員
10月	救急救命法について	全職員
12月	高齢者虐待について	全職員
2月	摂食・嚥下障害の基礎知識	全職員

(3) 職員健康管理

年1回定期健康診断を実施、宿直勤務のある職員は年2回実施した。また、調理員については、毎月1回検便実施、また、新たに、ノロウィルス対策の検便を実施。

宿直職員については、年2回の健康診断を実施。

(4) 広報活動・情報公開

施設利用者、家族、後援会会員を対象に、広報「ほうせき」を年1回発行した。

また、利用者の苦情解決のために、第三者委員会を設置しているが、第三者委員を交えての問題解決事項はなかった。

家族に対しても、苦情解決の徹底を図ること。

ホームページを利用して、広報や財務諸表の公開をする。

(5) 福利厚生

職員親睦会助成、独立行政法人福祉医療機構、岡山県民間社会福祉従事者共済制度、岡山県民間社会福祉従事者育成制度及び福利厚生センター・ソウェルクラブ加入を継続した。

資格取得を目指す職員に対し、資格取得にかかる費用の助成を行った。

外部研修参加の費用負担をする。

6. 栄養管理

栄養基準量を定め、献立は月に一度の給食会議、また、嗜好調査 日々の残菜調査を実施し、希望に沿った調理、味付け、盛り付け等の工夫を行い、季節感のある料理を提供できるように心がけた。

食事はカフェテリア方式とし、食事時間を各1時間設けBGMを流し 観葉植物を配置して、ゆっくり落ち着いて食事ができるよう配慮した。